

令和5年度 学校評価 自己評価書（1学期）

1 学校の重点目標

- 豊かな人間性と健やかな体を備えた生徒を育成する。
- 「確かな学力」を持ち、未来を切り拓く生徒を育成する。
- 信頼される開かれた学校教育を推進する。

2 課題と改善策

※ 職員の評価は4段階評価とする

重点課題と評価項目	職員	評価結果と改善方策
<p>1 人権教育の推進と豊かな心を育む道德教育の充実</p> <p>(1) 計画に沿って、授業を実施している。</p> <p>(2) 総合単元的な授業の展開に努めている。</p>	<p>3. 0</p> <p>2. 9</p>	<p>○授業の中で、意図的・計画的に取り組むことができた。平和学習で学んだこと等を含め、今後も全教育活動をとおして取組めるようにしたい。</p>
<p>2 発問を工夫し思考力・判断力・表現力を高める授業改善の工夫</p> <p>(1) 基礎的・基本的な内容を明確にして、教材や板書を工夫している。</p> <p>(2) 生徒や保護者の願いを具体化し、自ら学ぼうとする具体的な学習指導プランの作成に努めている。</p> <p>(3) 「主体的・対話的で深い学び」を意識して、授業を展開している。</p>	<p>3. 0</p> <p>3. 0</p> <p>3. 1</p>	<p>○基礎的・基本的事項の定着に向けて、小テストの実施やワークシートを効果的に活用した。</p> <p>○「生きた教材」と「デジタル教材」を融合した授業に取り組みたい。</p> <p>○ EdTech を生かした個別最適化された学びを活用している。</p>
<p>3 一人一人を大切にしたい指導や支援の工夫</p> <p>(1) 様々な検査や調査を活用して、的確な実態把握と個別支援カードを活用した適切な個々の把握に努めている。</p> <p>(2) 合理的配慮の提供に努め、特別支援教育の工夫を行っている。</p>	<p>2. 8</p> <p>3. 0</p>	<p>○特別支援教育支援員と連携し、個に応じた学習支援を行うことができた。今後も計画的な支援に心掛けたい。</p> <p>○授業で使用する教材について、個別に対応できるように心掛けた。</p>
<p>4 教育相談を生かした積極的な生徒指導の充実</p> <p>(1) 生徒指導部会（心の教育推進委員会）等で確認した共通理解事項を日常の指導に生かしている。</p> <p>(2) 気になる生徒についての情報連携を積極的に行い、必要とする支援に努めている。</p> <p>(3) 生徒への意図的な語りかけやカウンセリングを通して、個に応じた積極的な生徒指導の推進に努めている。</p>	<p>3. 1</p> <p>3. 2</p> <p>3. 1</p>	<p>○職員間の連携が取れており、生徒指導上の問題について把握しやすい。今後も小規模校の特性を生かした指導を展開していきたい。</p> <p>○小規模校の利点を活かし、すべての生徒への声掛けや見届け指導を徹底していく。</p>

<p>5 夢を創り夢を持ち未来を切り拓くための系統的なキャリア教育の展開</p> <p>(1) 啓発的な体験活動の推進をとおして、望ましい職業観・勤労観の推進を図っている。</p> <p>(2) 地域や保護者、関係機関と連携したキャリア教育を推進している。</p> <p>(3) 様々な活動において、目標を持たせ、活動の振り返りをさせることで、達成感や次の活動への意欲を高めさせるよう努めている。</p>	<p>2. 7</p> <p>2. 7</p> <p>3. 0</p>	<p>○福祉体験学習では、社会福祉協議会と連携して、高齢者疑似体験や車いす体験を行うことができた。</p> <p>○上級学校説明会は、生徒にとって良い進路情報となったと思う。特に、高校の選定においては、進路希望調査を基に行なったことで、生徒たちが興味をもって参加することができた。</p>
<p>6 健康でたくましい心と体の育成</p> <p>(1) 生徒の表情や様子を観察・確認し、心身ともに健康な生徒の育成に努めている。</p>	<p>3. 2</p>	<p>○生徒の様子について、学年の枠を解いて情報交換ができてきている。</p>
<p>7 小中交流タイムの充実、学びを高める小中連携の推進</p> <p>(1) 授業を通じた実践研修や小中連携による研修の充実に努めている。</p> <p>(2) 小学校との児童生徒理解を深め、いじめの早期発見対応や不登校児童生徒への適切な対応に努めている。</p> <p>(3) 様々な行動や活動をとおして小学校との連携を充実させ、推進委員会や各研究組織が計画的に運営され、職員一人一人が積極的な活動や研究を推進している。</p>	<p>2. 8</p> <p>2. 8</p> <p>2. 7</p>	<p>○小中交流タイムや小中合同職員研修等を活用し、児童・生徒だけではなく、職員間の交流も活発に行なえるようにしたい。</p> <p>○児童・生徒の出欠状況について、情報交換を行うことができた。特に、不登校・不登校傾向の生徒については、連携を密に図ることができた。</p>
<p>8 食育（弁当の日）と関連させた総合的な学習の時間の探究</p> <p>(1) 「弁当の日」のねらいと総合的な学習の時間の目標（探究的な学習過程をとおした資質・能力の育成）とを意識した指導に努める。</p>	<p>3. 2</p>	<p>○「弁当の日」の活動では、生徒会保体環境部の活動の幅が広がるとともに、これまで積み重ねてきた経験を活かし、質の高い活動ができた。</p>
<p>9 時間や成果を意識した業務改善の推進</p> <p>(1) 校務の計画的な遂行に努めている。</p> <p>(2) 超過勤務を少なくし、定時退庁などの勤務時間の適正化に努めている。</p>	<p>3. 2</p> <p>3. 0</p>	<p>○定時退庁日（毎週水曜日）の呼びかけを継続する。</p> <p>○早めの企画・立案に心掛け、役割分担を明確にするように努める。</p>